

がんばろう
南三陸町
復興第87号

南三陸マイタウン月刊情報

発行所
千葉総合印刷株式会社
本吉郡南三陸町志津川字沼田 150-84
TEL(46) 3069 FAX(46)3068
企画・編集
志津川広報センター

志津川中学校文化・学習発表会



10月20日日曜日、志中恒例の発表会が開催された。今年「轟～響き渡れ志中の名～」と題され、志中生のパフォーマンスが躍動した。3年生の熊谷藍斗実行委員長は、「地域や家庭の皆様へ日頃の感謝の気持ちと感動を届けたい」と話す。発表は、英語暗唱・英語弁論・国語弁論・少年の主張があり、防災学習発表が披露された。三浦校長先生の挨拶に続き、クラス対抗合唱コンクール、学年が進むごとにレベルが上がっている気がする。PTA以外の皆さんにもぜひ聴いてもらいたい。



志津川小学校学芸会

全校児童合唱

志津川地区の元気な後輩達の頑張りに、喜びと感動の学芸会となった。10月19日(土)に令和元年初めて、全町の小学校の学芸会が開催された。プログラム1番は、1年生の開会のことばで、体全体を動かし元気な声で、会場の家族に「楽しんで下さい」と伝えた。続いて吹奏楽部による2020年東京オリンピック応援ソング「パブリカ」を披露した。プログラムの11番の最後の演技は、6年生の劇「一番列車が走った」で、原爆投下のわずか3日後の焼け野原となった広島を表現した。会場からは、すすり泣く声が聴こえ、児童の名演技に感動した。

11月3日文化の日



南三陸町文化功労章の授与式が開催され長年町の福祉・医療・教育・調査などに貢献・尽力していただいた9個人・2団体が表彰された。お祝いの席には関係者が大勢集まりその活動貢献に感謝した。町長の祝辞では「皆様方に敬意を表し、改めて御礼申し上げます。」と述べた。議長は「町政発展と復興に尽力され、持続可能な町を必ずや成就する。」と話した。「教育文化功労」高橋長泰、阿部博之。「保健衛生功労」小野寺勉、阿部文好、阿部菊治。「統計功労」三浦富一、菅原三美、阿部洋、高橋克雄。「産業功労」宮城県漁業協同組合志津川支所戸倉出張所カキ部会、南三陸森林管理協議会。



「南三陸町産業フェア」は全国からの支援隊が支えている。庄内町は地元の商工観光支援に来町する南三陸町の山形の「姉妹都市」で震災後にも数百万の義援金が送られてきている。山形の庄内のブースには今年も行列が出来ていた、「庄内牛」の焼肉販売にはいつもの風景です。

千葉賢一絵画展
12月21日(土)午前10時～午後2時
志津川本浜志津川広報プラザにて
(志津川駅海側隣)
利き手が病気で使えなくなってから、左手で絵筆を持ち、100点以上も描き続けた(千葉印刷の長男)。コーヒーコーナーあり。大根・古着販売(数量限定) 売上は台風被害のお見舞いさせていただきます。

晴天に恵まれた産業フェアの出店者は午後には「売り切れ御免」の嬉しい声も聴いた。来場・出店・演技などに参加された方々には、多くの笑顔があり、「関西京都今村組」のはっぴを着た子供達が、元気と勇気を与えてくれた。

南三陸町人口の推移

(令和元年10月末現在)

	南三陸町	志津川	戸倉	入谷	歌津
22年3月	17,815	8,294	2,433	1,907	5,181
30年9月	13,048	5,353	1,420	1,970	4,305
元年10月	12,732	5,175	1,390	1,943	4,224
30年9月からの増減数	-316	-178	-30	-23	-81
元年9月からの増減数	0	2	-2	5	-5
世帯数	4522	2042	471	655	1354

(2019年11月の新聞記事より)



17日入谷地区にある「ひここの里」の駐車場は来場者の車でいっぱいだった。松笠屋敷の手前の蔵づくりの建物では「蕎麦まつり」に合わせ、振る舞いの餅つきと試食コーナーが開催され、多くの来場者で賑わっていた。「何がいいの?」と、世話役の人が優しい言葉を送ってくれる。メディアも取材に来ているようで、山里の日曜は賑やかな雰囲気の中にあっただ。松笠屋敷の中には順番を待つ人で賑わい、地区の御世話人が受付をし、そばたてでは入谷地区の重鎮が子供を連れた家族と語り合う姿があった。注文されてからそば粉をこね、そば切りし出来立ての蕎麦を提供している。テーブルでは蕎麦が来るまで隣り合わせた人との会話も、蕎麦まつりの一つの楽しみと隣席の方が教えてくれた。色々な話に待つ間も、蕎麦まつりの素敵な時間を味わった。

未来への教訓

復興! 大津波の記憶を風化させない

令和元年(2019年) 7月の出来事

南三陸町

- ◆南三陸町が志津川市街地で進めている土地区画整理事業を巡り、阿部長商店が一部区域を対象区域から除外したことなどが違法だとして、町に対して事業での換地処分は無効確認などを求める訴えを起こした。特措法では、被災市街地復興推進地域について、健全な復興を図るためできるだけ速やかに土地区画整理事業などの措置を講じる事を定めている。訴えを起こしたことについて、町は裁判で争う姿勢を明確にした。
- ◆南三陸町の2018年度の町税収入額が、過去最高の約13億9千万円に上った。収納率は震災前の10年度に82.41%、11年度は震災の影響で78.07%と低下したが、17年度の99.49%は県内35市町村でトップ(確定値)。

- ◆南三陸町の高齢化率が年々上がっている。3月末現在で35.6%、県内35市町村の中で12番目の高さになっている。総人口1万2837人のうち高齢者が4574人となっている。
- ◆南三陸町はトヨタ自動車、県などとEVを活用した社会システム実証プロジェクトを2022年まで取り組む協定を締結している。今回はプロジェクト第1弾として、小型電気自動車(EV)を町内の移手段に活用する実証事業を20日から始める。
- ◆5日、名足小学校の5年生が災害のリスクから身を守る方法を考え、万一の際にどう行動すべきかを話し合った。児童はグループごとに考え、地域や国に求めたいことも挙げて発表した。東北大学の減災教育「結」プロジェクトの一環として行われた。
- ◆南三陸町をはじめ、全国で小型電気自動車など次世代型の移手段を活用した事業に取り組む自治体が連携し、「仮称・次世代モビリティ都市間ネットワーク」を立ち上げる。事業に取り組むのは、南三陸町、宮城県、女川町、愛知県豊田市、茨城県つくば市、島根県出雲市、沖縄県久米島町の7自治体となっている。

- ◆7日気仙沼市総合体育館「ケー・ウェーブ」で、第44回県防具付空手道選手権大会が開かれた。気仙沼・本吉勢は、組手で5部門、形で3部門を制したほか、33人が上位入賞し10月に東京で行なわれる全国大会に出場する。
- ◆志津川のサンオーレそではま海水浴場周辺を会場に、南三陸町初の「アクアスロン大会」が7日開かれた。県内外から約60人が参加した。スイムとランの2種目で争われるのがアクアスロン競技。
- ◆台湾との交流を深めている南三陸町。台湾の大学生が職業体験を行なうインターシップが、9日から始まった。今年は14人が2カ月間滞在し、職務体験をする。南三陸町で生活を体験し、住民と交流を深める。
- ◆全国高校野球選手権宮城大会を前に、歌津の「平成の森球場」のスコアボードが電光掲示板にリニューアルされた。宮城大会は、14日・15日に2回戦4試合が組まれている。
- ◆南三陸町はラムサール条約に登録された志津川湾の藻場の現状を把握する調査に取り組んでいる。7月中をめどに調査を終え、9月までにデータをまとめる予定。

(前ページよりの続き)

◆11 日名足小学校の全校児童 53 人が、船に乗って養殖いかだを見学し、地元の海の豊かさにふれた。名足小は約 30 年前から「ふるさとの海に親しむ会」として、学校近くの海での全校行事が恒例となっている。

◆東日本大震災の津波で流失した、志津川の荒嶋神社の大鳥居が再建された。鮮やかな朱色の鳥居が完成した。

◆東京の演劇集団「ごきげん一家」による公演が、南三陸町生涯学習センターで13日開かれた。公演は昨年に続いて2回目で、町内に伝わる民話を題材にしたオリジナルの演劇を披露した。会場は終始笑いに包まれていた。

◆歌津伊里前地区防災集団移転団地に建設が進められていた、障害者の生活介護施設「のぞみ福祉作業所」が完成し、17日落成式が行われた。洗心会が運営する。

◆総合学習で養蚕を学んでいる戸倉小学校の4

年生8人が20日、1カ月間育ててきた飼育台から、繭玉を作るための簇(まぶし)と呼ばれる道具に蚕を異動させた。繭玉の回収は29日の予定で、集めた繭玉で交通安全マスコットや卒業式などに使うコサージュ作りに使うことにしている。

◆18 日台湾の国立嘉義高級中学の高校生が、志津川高校を訪れた。昨年に続き2回目で、日本語研修旅行で町内に滞在している1~3年生16人が訪問した。

◆志津川地区に整備する震災伝承施設の、基本計画がまとまった。南三陸さんさん商店街北側に道の駅と一体的に計画。2021年4月の開館を目指し、本年度中に設計を行う。早ければ年内には基本設計案の段階で住民から意見を聞くことにしている。

◆志津川高校で来春の就職を希望する3年生を対象にした、模擬面接会が行われた。高校生の採用活動での面接などの対応力を身に付ける

ため、毎年この時期に行っている。

◆阿部長商店が一部区域を対象区域から除いたことなどが違法だとして、町に換地処分の無効確認などを求めた訴訟で、第1回口頭弁論が22日仙台地裁で行なわれた。

◆南三陸町の自然や歴史を学ぶ「南三陸少女自然調査隊」で活動する子供たちが、八幡川で生物調査を行なった。絶滅危惧種にもなっているニホンウナギの幼魚も見つかり、子供たちは地元の川が多様な生物が暮らす豊かできれいな環境であることを感じていた。

◆県が本年度から取り組んでいる「地域活性化型みやぎキャッシュレス推進事業」の一環での、キャッシュレスキャンペーンのキャッシュレス決済に向けた実証事業がおこなわれる。8月1日から南三陸さんさん商店街と南三陸ハマーレ歌津で、31日までの1カ月間行なわれる。

千葉印刷

謹んで新年のお慶びを申し上げます

お慶やかに新年をお迎えのこと存じます。日頃ご無沙汰をお詫びいたします。ととも、今後とも原諒のほどお願い申し上げます。令和二年 元旦

宮城県本吉郡南三陸町志津川字本浜町
電話 二二三四五六一七八九〇

あけましておめでとうござります

お慶やかに新年をお迎えのこと存じます。日頃ご無沙汰をお詫びいたします。ととも、今後とも原諒のほどお願い申し上げます。令和二年 元旦

宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田
電話 二二三四五六一七八九〇

謹賀新年

お慶やかに新年をお迎えのこと存じます。日頃ご無沙汰をお詫びいたします。ととも、今後とも原諒のほどお願い申し上げます。令和二年 元旦

宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田
電話 二二三四五六一七八九〇

1年間御愛顧ありがとうございました (お気軽にお電話ください)

あけましておめでとう

今年も皆様にとりまして、幸せに満ちた一年になりますよう心からお祈りいたします。令和二年 元旦

宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田
電話 二二三四五六一七八九〇

新年おめでとう

今年も皆様にとりまして、幸せに満ちた一年になりますよう心からお祈りいたします。令和二年 元旦

宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田
電話 二二三四五六一七八九〇

あけましておめでとう

昨年は大変お世話になりました。今年もよろしくお願いたします。令和二年 元旦

〒986-0000 宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田000-00

新年おめでとうございます

平素のご無沙汰もお詫び申し上げます。皆様にとりまして、幸せな一年となりますよう心からお祈り致します。令和二年 元旦

新年のご挨拶・欠礼はがき受付中! (電話での注文も出来ます)

迎春

昨年は大変お世話になりました。ありがとうございます。本年も何卒よろしくお願申し上げます。令和二年 元旦

謹賀新年

皆様のご健康とご多幸を心からお祈り致します。本年もどうぞよろしくお願申し上げます。令和二年 元旦

喪中につき新年のご挨拶をご遠慮申し上げます

今年中に賜りましたご厚情を深謝致します。と共、明年も変わらぬご交誼のほどお願申し上げます。令和元年十二月

喪中につき年末年始のご挨拶をご遠慮申し上げます

三月に父〇〇が八十八才にて永眠いたしました。ここに本年中に賜りましたご厚情を深謝申し上げます。明年も変わらぬご交誼のほどお願申し上げます。令和元年十二月

喪中ハガキは電話での注文も受け付けております。絵柄は他にもあります。